

輸送経済

THE YUSO-KEIZAI

第2821号 昭和24年4月23日 (第三種郵便物認可)

11/11

平成20年
(2008)
(火曜日)
週刊

関東圏に大型拠点

福山 小口商流、品質向上図る

福山通運(本社・広島県福山市、小丸成洋社長)は、関東圏に大型の物流拠点を開設する。小口商流貨物の分野で、さらに品質向上を図る。

(牧田 美介)



小丸 成洋社長

関東強化では、四目に東京北支店(東京都北区)

がリニューアルオープン。十二月一日には群馬県太田市に群馬太田支店を開設する。

同県では高崎支店に次ぎ二店目。敷地面積約一万三千平方メートル、二階建てで延べ床面積約九

千平方メートルの大型施設。また、二年以内に神奈川県藤沢市の約三万平方メートルの土地に大型

の物流拠点を設置する予定。

同社はサービス充実のため、拠点強化を進めて

いるが、さらに関東地区を充実させる。

「超小口荷物では他社に水をあけられ太刀打ち

できないが、小口の荷物で順調に業績を伸ばしている。他社との差別化を図り、品質でさらに拡大させる」(小丸社長)。

八月からは関東一九州間でスターフライヤー社による航空貨物事業も開始。翌日午前に荷物が届く六百キロ範囲内の輸送をメインに行っているが、範囲拡大を進める。

今後も首都圏を中心に物流拠点を増やし、小口商流貨物の品質をさらに向上させる。